



燕市

# ファミリー・サポート・センターだより

VOL.27

2026年4月

提供会員  
両方会員  
募集中!!

サポート活動をしてくださる、**提供会員**を大募集しています。  
“できる時にできる範囲で”無理のないサポート活動をしていただきたいと思います。  
お友達やお知り合いの方で、ご協力してくださる方がいらっしゃいましたら、**ぜひご紹介ください!!**

また、**子育て世代同士で育児を協力し合う両方会員**さんも同時に募集中です!!  
ご自身のお子さんと一緒に保育園や児童クラブへ通うお子さんを送迎したり、  
預かりのサポートの際にはお子さん同士と一緒に遊んで交流の機会にすることもできます♪  
子育てを頑張っている方同士で、気兼ねのない、お互い様のサポート活動をしてくださる方を大募集中です!!

Instagram  
フォローを  
お願いします

ファミリー・サポート・センターの**Instagramアカウント**を開設しました!  
燕市ファミリー・サポート・センターは、事業内容や普段のサポートの様子を発信し、市民の皆さんにファミリー・サポート・センターをより身近に感じてもらうため、Instagramアカウントを開設しました。  
ファミサポのことやサポート中のエピソード、センターからのお知らせなどをタイムリーに発信していきます。

このアイコンが目印です

- 1.アカウント名：燕市ファミリー・サポート・センター
- 2.ユーザー名：famisapo\_tsubame
- 3.閲覧方法：二次元コードからアクセスいただくか、公式Instagramのページ画面で「燕市ファミリー・サポート・センター」を検索して「フォロー」してください。



FAMISAPO\_TSUBAME

## 提供会員さんの声 活動報告書から

### (家庭での兄弟二人の 育児支援)

★雪遊びをしてから家の中で遊びました。そり遊びや雪合戦、雪だるまにバケツの帽子をのせたり目を付けたりに楽しそうでした。  
家に入ると紙芝居を読んでから、かくれんぼをして私も童心に返って楽しかったです。

### (保育園へのお迎え後、預かり)

★廊下でサッカーをしました。「見て！見て！」と言って膝でボールを上げたりドリブルをしたり、得意げな表情がかわいかったです。

★夕飯を食べ終わるとお皿を流しに片付けてくれました。片付けをしてくれるのはもちろん、シンクに置けるほど背も伸びたのだと成長に感動しました。

### (小学生の送迎サポート)

★ピッカピカの1年生！ピッカピカのランドセルを背負い、黄色い帽子の立派な姿で来てくれました。入学おめでとうございます！

★車内はいつも想像力豊かな面白い話で会話が途切れることはありません。大人の私では思いつかない発想で楽しませてもらっています。

★車中では機嫌よく歌や手遊びをして楽しそうです。信号が赤になると「ストップ！」と言って笑います。

### (0歳の預かりサポート)

★最初は人見知りで泣いていましたが、慣れてきたらおやつを食べたり風船や車のおもちゃで機嫌で遊んでいました。

その後、お散歩に出かけたら途中で寝てしまい、そのままお迎えとなりました。

## 燕市ファミリー・サポート・センター

住所／燕市吉田日之出町1番1号 燕市子育て総合支援センター「すくすく」内  
開館時間／月～金曜日 午前8:30～午後4:30 (土・日・祝日・年末年始お休み)

アドバイザー 的 山・小島



春の柔らかな日差しの中、新年度がスタートしました。  
みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

日頃より、ファミリー・サポート・センターの活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。  
お互いを大切に思い、心と心を通い合わせ、気持ちのこもった温かいサポートのお手伝いをさせていただきたいと思っています。  
ファミサポだより27号をお届けします。今年度もよろしくお願いたします。



## 令和7年度 ファミリー・サポート・センター活動状況

令和7年度に行われたサポート活動と会員数をご報告します。  
令和7年4月1日～令和8年2月28日

### 活動状況

- 1.障がい児支援施設への送迎・・・329件
- 2.放課後児童クラブへの送迎・・・207件
- 3.保育所・こども園への送迎・・・152件
- 4.保育所・こども園の登園前後の預かり・110件
- 5.依頼会員宅での育児援助・・・41件
- 6.放課後児童クラブ前後の預かり・・・26件
- 7.学校への迎え及び預かり・・・12件
- 8.保護者の外出時の預かり・・・7件
- 9.習い事への送迎・・・4件
- 10.保育所・学校等が休みの時の預かり・・・1件

### 会員数

燕地区	依頼会員・・・94名
	提供会員・・・35名
	両方会員・・・29名
吉田地区	依頼会員・・・49名
	提供会員・・・38名
	両方会員・・・19名
分水地区	依頼会員・・・16名
	提供会員・・・9名
	両方会員・・・6名
総数	依頼会員・・・159名
	提供会員・・・82名
	両方会員・・・54名
	合計・・・295名



### 会員さんへ お知らせ

- 住所変更など、変更が生じた場合は必ずセンターへお知らせください。
- 安心・安全なサポート活動のために、**研修会・交流会にご参加ください。**
- サポート活動の中で、気になること、いつもと違うことなどがございましたら、お知らせください。
- 送迎サポート中の事故に備えて「移動サービス専用自動車保険」に令和8年6月頃からの加入を予定しています。
- ファミリー・サポート・センターは専門的な保育サービス・タクシー等の送迎サービスとは違い、**できる人ができる範囲で少しずつ手を差し伸べる事業です。**  
また、**子どもの安心・安全を最優先として行っておりますので、必ずしもサポートをお約束するものではないことをご承知おください。**

### 依頼会員さんへ

サポートの依頼とキャンセルは**センターへ必ずご連絡**ください。

### 提供会員さんへ

活動報告書は**毎月5日までに**提出してください。

## 令和7年度 研修会・交流会を開催しました

ファミリー・サポート・センターでは、安心・安全に子育てやサポート活動を行うための、研修会や交流会を毎年開催しています。  
今年度に開催した各研修会の様子や参加者の方からいただいた感想をご紹介します。令和8年度の研修会・交流会のご案内は後日お送りさせていただきます。  
皆さまのご参加をお待ちしております！！

### 第1回 普通救命講習



- 感想**
- 応急手当の基礎が学べたこと、特に小児・乳児に対してのAEDの使い方、人工呼吸など勉強になりました。AEDのあるところなどの確認をしておく必要があると感じました。
  - 小さいお子さんを連れての参加もあり地域のみなさんの意識が高いと感じました。講習を定期的に受ける必要があると感じました。

毎年必ず開催している普通救命講習は、燕・弥彦総合事務組合防災センター職員から乳幼児の心肺蘇生法を学んでいます。  
今年度は消防署に119番通報した時の電話対応の仕方を、2名の方から代表して体験していただきました。実際に携帯電話から消防署へ電話をかけて、通信指令員へ現在の状況を説明し、指導を受けながら心肺蘇生をしたりAEDを使用しました。

### 第2回 大人が子どもに言葉を伝えること ～コミュニケーションって何？～

小池保育園 臨床発達心理士丸山マチ子さんを講師に、コミュニケーションについて教えていただきました。  
コミュニケーションは言う側（子どもなど）の伝える能力が問題なのではなく、受ける側（大人など）が気持ちに寄り添い、分かりたい・理解したいと思って接することが大切なのだと学びました。

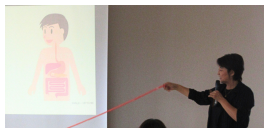


**感想**

- 子どもにとって泣くことがコミュニケーションになっていると改めて感じました。泣き止ませることにばかり注力してきましたが、一度意味を考えてみようと思うようになりました。
- 言葉、コミュニケーションについて、違った視点でお話を聞くことができて面白かったです。「まず分かってあげよう」ということを家族や周りの人にも伝えていきたいと思えます。



### 第3回 「食べる」とは命を育むこと ～子どもの心と身体は食事で豊かになる～



NPO法人日本食育協会認定上級食育指導士 霜鳥英梨さんを講師に食について学びました。

私たちの身体のすべてが毎日の食事からできているということや、栄養のあるものを食べてもビタミン、ミネラルが足りないと栄養が身体に吸収されないということなどをわかりやすく、楽しく教えていただきました。

**感想**

- 毎日食べる食事が身体だけでなく心にも大事なものだということがわかりました。腸の大切さが聞けてよかったです。
- 子育てと食が結びついているということにハッとしました。子どもが食べるかどうかばかり気にしていて、食べた物がどう影響するかまではあまり気にしていませんでした。

### 第4回 交流会 「みんなでポッチャを楽しもう&茶話会」

新潟県ポッチャ協会の方からポッチャのルールやボールの投げ方などを楽しく教えていただきました。その後、赤と青の2チームに分かれて試合を行い盛り上がりました。その後、場所を移してお茶とお菓子を囲んでみんなで楽しい時間を過ごしました。



**感想**

- ポッチャ楽しかったです。正式なルールを初めて知りました。
- お子さんもいらっやかって賑やかでファミリーっぽかったです。楽しめました。またやりたいです！



### 第5回 アレルギーや小児の看護について



新潟県立吉田病院 外来副看護師長 長谷川恵子さんから、小児のアレルギー症状や体調不良時の対応について、詳しくわかりやすく教えていただきました。また、体調不良時の食事は何がよい？ 解熱剤の使い方は？ 鼻血を早く止めるには？ など、参加者の方からの質問にお答えいただく時間も設けてくださり、みなさん喜んでいらっしゃいました。

**感想**

- 専門の方からアレルギーの話詳しく聞くことができてよかったです。ホームケアも参考になりました。
- すごく詳しく丁寧な内容で、知識としてとても残りました。小児科を受診する際に「こんなことを聞いてもいいのかな…」と聞きにくかったことを質問できました。

### 第6回 大人もためになる、子どものお口をしっかりと育てるお話

高桑歯科医院 赤坂明子先生から口腔内をどのように育てるとよいかを教えていただきました。  
フッ素のこと、歯ブラシの選び方や仕上げ磨きのこと、ペロの正しい位置などについて学びました。  
お口周りの発達を促す、あいうべ体操なども教えていただきました。

**感想**

- 子どもだけでなく家族みんなで口腔機能の低下を遅らせていきたいと思いました。
- 口について聞く機会が少ないので、とても勉強になりました。口の問題がいろいろあると感じていましたが、歯科医院で相談できるということもわかりました。



### 第7回 発達障がい理解と支援 ～困った行動には理由がある～

発達障がいの研修会は毎年必ず開催していますが、どの年も多くの方からご参加いただいています。今年度は、新潟県発達障がい支援センターRISEの勝見太一さんを講師に、社会や産業の変化から発達障がいの考えられ方がどのように変化していったのか、発達障がいの子どもに困っているのか、どういった対応をすれば伝わりやすいのかなど、二次障害やペアレントトレーニングについてなど、幅広く教えていただきました。

**感想**

- 「障がいたから…」ではなく、人とかかわりや育児について共通していました。
- 二次障害の部分までお話を聞くことができました。「発達障がいはその人のすべてではなくほんの一部」考えさせられました。

